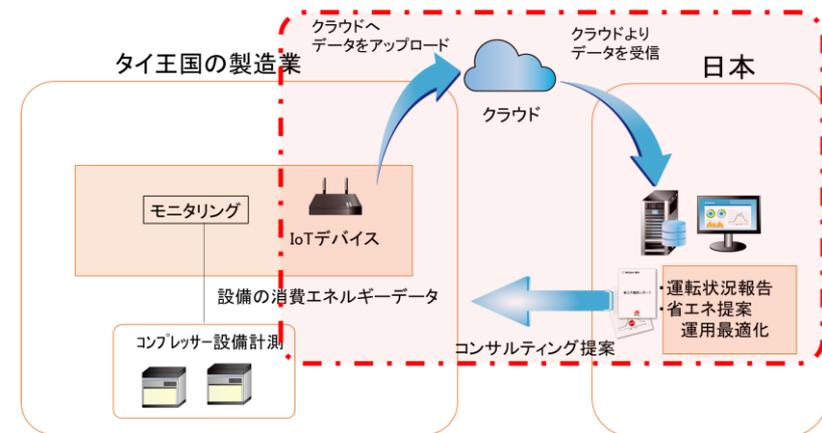


リノベーション・実証の概要

本事業は、既に日本で実績のある製造業を対象としたIoTを活用したコンプレッサ最適運用技術をタイで展開するにあたりリノベーション・実証を行うものである。具体的には、タイの工場のコンプレッサにIoTデバイスを設置し、クラウド上にアップロードされるデータを日本で分析し、運用最適化を提案することにより省エネ・CO2削減することに加え、現地の設備管理者のコンプレッサに関する省エネ能力向上も図るもの。

＜リノベーション・実証内容＞

- ①日本から遠隔でIoTデバイス設定・メンテナンスを実施するためのデバイス改造
 - ・遠隔で設定・メンテナンスするためのシステム構築およびタイ通信環境下での遠隔実証試験
- ②不安定な通信環境への対処
 - ・通信エラー時の伝送システムの構築および複数の通信会社のSIMで通信実証試験（10箇所程度）
- ③設備管理者へのコンプレッサに関する省エネ能力向上
 - ・10箇所の試験を通じたコンプレッサ最適運用に関する能力向上



対象とする国・地域の概要

タイ政府は2036年までにエネルギー消費原単位を2010年度比30%削減する計画を公表しており、省エネルギー促進が急務となっている。この政策により、現地製造業の省エネニーズが非常に高まっている。

バンコクおよびチョンブリー、ラヨン、チャチューンサオなどの地域を中心に実証試験予定。



地図データ©2019google

対象とする国・地域における事業化・普及の見込み

事業化見込み

- STEP1: 2020年下期より事業化し、初年度に15件実施
- STEP2: 対象機器をコンプレッサ以外のボイラ、空調、工業炉、生産ライン等まで拡大
- STEP3: タイ以外の国にグローバル展開

普及の見込み

タイにおいてコンプレッサ最適運用技術を2023年に50件、2025年に100件の展開を図る。